

研修報告書

令和 7 年 3 月 1 4 日

ふじみ野市議会

議長 島田 和泉 様

ふじみ野市議会

青藍会代表 山田 敏夫

青藍会所属議員 4 名が、以下の通り地方議員研究会主催の議員研修会「予算質疑特別講座①」「予算質疑特別講座②」に参加したので報告する。

1. 参加議員 川島秀男、前田広子、鈴木宏樹、板倉篤

2. 研修概要

日時： 令和 7 年 2 月 2 2 日（土） 1 0 時 0 0 分～ 1 6 時 3 0 分

会場： リファレンス西新宿大京ビル貸会議室

（東京都新宿区西新宿七丁目 2 1 - 3 西新宿大京ビル 2 F）

講師： 木村亮太氏（元枚方市議会議長）

講座： 「予算質疑特別講座①」「予算質疑特別講座②」

3. 受講の経緯

3 月定例会では、議会の大切な仕事の一つである予算審査が行われる。予算審査は次年度の市が取り組む事業についてその内容や期待される効果、また、それに対して予算規模が適切であるかなどを確認するものである。しかしながら、人口減少や高齢化の進展により義務的経費が財政を圧迫している昨今、事業計画と予算編成についてチェックすることの重要性は一層高まっていると考える。そして、そのチェック機能の向上のためには議員一人一人の知識や能力の向上が欠かせないことから、今回青藍会 1 期生 4 名で受講したものである。

4. 内容等

(1) 予算質疑特別講座①

冒頭、予算質疑の目的と流れを確認することで委員会審査の目的及び本講座の目的を確認した。その後、質疑の質を上げるために欠かせない着眼点や、質疑内容について担当職員と事前のすり合わせをすることの重要性、執行部としっかりかみ合った質疑とするために押さえるべきポイントについて説明があった。

また、予算書に書かれた数字だけではなく、施策評価や市の総合戦略等を踏まえた質問、事務事業評価を踏まえた質疑の重要性について複数のケーススタディを基に質疑内容の組み立て方を学んだ。

(2) 予算質疑特別講座②

予算書以外にも質疑に結び付く情報が得られる資料として、決算審査意見書、財政状況資料集、人事行政の運営等の状況の公表、関係省庁の概算要求などの資料を紹介され、それぞれについて資料の探し方から読み解き方、確認すべきポイントについて実際の資料を用いながら活用方法を学んだ。

木村講師が枚方市議会議員時代に実際に行ってきた予算質疑をケーススタディとして、どのように質疑内容を導いてきたのかという項目では、「事業内容の確認→問題点の洗い出し→質疑内容の決定」という共通した思索の流れに則って質疑内容を考えていたということが紹介された。

また、質疑して終わりではなく、その後も引き続きフォローしていくことで提言した政策を実現させていくことが肝要ということも学んだ。

5. 研修を受講して

今回、木村講師の「予算質疑特別講座」を受講する機会を得て、予算書の数字だけではなく、事業の実績や評価、類似団体の状況や国の政策などを併せて見ることで予算書の内容を立体的に捉えることの重要性を学んだ。これがあって初めて事業の目的や目指す効果、それに対する予算額の妥当性の評価ができるようになるのだと感じた。

これらの学びは受講直後に開かれた令和7年第1回定例会の委員会審査においても参加した各議員の質疑がこれまで以上に深く切り込んだものにつながったと感じており、会派の仲間とともに向上心を持って議会活動に取り組んでいけることをうれしく思う。

今回青藍会の1期生議員4名全員で受講したが、まだまだ力不足ではあるが

伸びしろも大きい新人一人一人の議員力を高めていくことが、会派、ひいてはふじみ野市議会全体の底上げにつながると信じ、今回の研修で学んだ内容を今後も議会活動に生かしていけるよう取り組んでいく所存である。